



令和4年度夏号 (NO. 48)
 発行：竜丘地域自治会
 編集：地域振興委員会
 問合せ先：(0265) 26-9303

安全委員会活動紹介 ～生活安全部会を中心に～

竜丘安全委員会は、交通安全と生活安全2つの委員会から構成されています。交通安全は理解しやすいと思います。生活安全の「生活」は広範囲すぎ、団体・各委員会等と重複しますので、生活安全委員の活動のみ紹介します。

◎集団下校時の統一行動◎ 登下校時の安全確保・犯罪抑制効果に繋がるため、小学校指定日に通学路上で子どもの見守りを行います。

◎防犯灯維持管理◎ 防犯灯点検・確認・修繕・要望受付・申請等行っています。夜間点灯しない箇所を見つけた時は生活安全委員に連絡してください。迅速に対処します。



交通安全教室の様子

◎春夏秋冬 安全運動期間◎ 青色パトロール・街頭広報・懸垂幕掲示

◎委員学習会◎ 委員の皆さんの意識向上のため特殊詐欺等安全学習会を開催しました。

◎消防団協力◎ 春・秋に行われる非常招集訓練の際、非常線設置の補助。

◎火災予防運動◎ 期間前にチラシを組合回覧し、火災を未然に防ぐよう注意喚起を行う。等々の活動を行っています。



非常招集訓練の様子

終わりに、令和5年度に向け安全委員会の統合検討を行っています。「忖度」…最近はいい響きに聞こえませんが、高齢者・子育て世代への「忖度」が地域には必要と思いませんか。今後、現役世代の委員・役員が増加します。交通・生活の統合、委員・役員の負担軽減だけでなく、行事・活動が負担での組合離れ組合解散が起らないよう、自治会・公民館・各地区の行事や活動を再考する良い機会と捉えます。(安全委員長 宮川 泰彦)

ギフチョウはその後どうしているの？

毎年、サクラの開花と同時に優雅な舞い方で、古くから「春の女神」と親しまれてきたギフチョウ。しかも、本州の一部にしかない日本の「固有種」。長野県内でも北信と木曽谷、伊那谷南部の局所でしか見られない長野県の「準絶滅危惧種」です。ここ竜丘にこの貴重なチョウがずっと生きてきたのです。



飯田市天然記念物のギフチョウ

例年になく猛暑が続きますが、ギフチョウはその後どうしているのでしょうか？



飯田昆虫友の会では1992年以来、30年間毎年「ギフチョウ公園」で産卵調査を行い公表していますが、ここ数年産卵の確認ができず危機的状況が続いていました。しかし、今年なんと6年ぶり



食草ヒメカンアオイとギフチョウの卵

に89個の卵が確認され、その生命力には感動しました。

ギフチョウも私たち人間も同じ生き物です。竜丘の自然豊かなこの環境を、リニア時代になってもみんなで大切に残していきたいと思います。(飯田昆虫友の会 松下 重雄)

市議会活動報告 ～一年生議員“がんばってます”～

コロナ禍による学校の休校、イベント等の自粛、不要不急の外出を控える等の要請がなされるなど仕事や家庭・学校生活に影響を与えはじめ早3年目となりました。市議会においても感染警戒レベルによっては議会傍聴の中止や議会報告・意見交換会も中止となりました。今年度は開催できるよう度重なる感染の波にいち早い収束を願うばかりです。竜丘地区においても特に大勢が参加する行事など縮小を余儀なくされながらも様々な工夫をしながら継続していることもあります。この間も視察へ行った先々での現情勢への対応、社会活動や取り組みを見たり聞いたりしてきました。竜丘地区に当てはまるということは多くはありませんが、今出来る事を行いながらも先を見据えたまちづくりが必要であることを改めて実感してきました。



飯田市の他の地区では三遠南信道などの交通網の整備に伴う人の拠り所の検討などがおこなわれていますが、竜丘地区においては新規事業の参入があったり、古墳群など地元で守ってきている魅力が数多くあると実感しています。そんな竜丘の魅力を活かしつつ、今後も竜丘地域自治会はじめ住民の皆さんの力をお借りしながら住みやすいまちづくりが進められるよう微力ながら力を尽くしていこうと思います。

(飯田市議会議員 市瀬 芳明)



昨年4月26日に当選証書の付与を受けてから、早いもので1年4ヶ月が過ぎました。コロナの影響もあり全ての活動を経験した訳ではありませんが、先輩議員の背中を追いながら頑張っています。常任委員会では、産業建設委員会に所属していますので、産業経済部、土木部、上下水道局、リニア推進部に関係する案件について議案審査をしています。

特別委員会の広報広聴委員会では、年4回発行される「議会だより」の編集に携わっている他、昨年度中止となってしまった「議会報告・意見交換会」についても、中心となり計画を立てています。同じく特別委員会の議会改革推進会議では、議会ICTの推進やオンライン会議の導入に向けた取り組みをしてきました。さらに今年度は、全議員が参加して「地方議会評価モデル」の作成に取り組んでいます。

一般質問では、昨年6月定例会で「農業用水の多様性」のテーマで、竜西土地改良区（一貫水路）の受益地減少にともなう運営の厳しさを訴えました。また12月定例会では「遊休農地の解消に向けて」のテーマで専業農家の重要性、特に親元就農の重要性を訴え、それぞれ一定の対応をしていただきました。今年の6月定例会では、「消防団の団員確保」をテーマとし、団員募集を分団任せにするのではなく、飯田市として積極的な取り組みをお願いしました。まだまだ未熟ではありますが、地域のために精一杯頑張ります。(飯田市議会議員 下平 恒男)



遠山川の橋きやく工事を視察

竜丘 四季折々の植物〈8〉～ 綺麗に咲いています 駄科総務企画委員 ～

県道444号線大井川沿いの三叉路に、色とり取りの花が咲いている花壇があります。駄科区役員と共に女性委員を中心に12名で行っています。

春には、11月頃に球根を植えたチューリップや水仙が咲き、5月末頃にマリーゴールドやペチュニア・ベコニア等の苗を植え、6月～10月頃まで色鮮やかに花が咲いています。地域の方々から、「花壇の花が咲いて綺麗だね」「花壇の花を見ると心が穏やかになれるよ」「この道を通るのが楽しみだよ」「手入れも大変だけど頑張ってるな」など嬉しい声を掛けてくださり花の球根・苗を植え、草取り、水やりと大変な作業ではありますが、やりがい・心の支えになり楽しみと繋がっています。



チューリップと水仙



マリーゴールドとペチュニアとベコニア

少しでも地域の方々的心が穏やかで明るくなれます様に、これからも歴代女性委員で受け継ぎ続けていけたらと思います。近くを通りましたら、気にして見て頂けると幸いです。(駄科女性委員 下平 美幸)